

貯法：室温保存  
有効期間：4年

制酸剤

日本薬局方

# 乾燥水酸化アルミニウムゲル細粒

乾燥水酸化アルミニウムゲル細粒「ケンエー」

Dried Aluminum Hydroxide Gel Fine Granules「KENEL」

|      |               |
|------|---------------|
| 承認番号 | 16100AMZ02174 |
| 販売開始 | 1986年3月       |

## 2. 禁忌（次の患者には投与しないこと）

透析療法を受けている患者 [9.2.1参照]

## 3. 組成・性状

### 3.1 組成

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 有効成分 | 1g中<br>日局 乾燥水酸化アルミニウムゲル細粒 1g |
|------|------------------------------|

### 3.2 製剤の性状

|    |                   |
|----|-------------------|
| 性状 | 白色の細粒で、におい及び味はない。 |
|----|-------------------|

## 4. 効能又は効果

○下記疾患における制酸作用と症状の改善

胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、  
上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、  
胃酸過多症を含む）

○尿中磷排泄増加に伴う尿路結石の発生予防

## 6. 用法及び用量

乾燥水酸化アルミニウムゲルとして、通常成人1日1～3gを  
数回に分割経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

## 9. 特定の背景を有する患者に関する注意

### 9.1 合併症・既往歴等のある患者

#### 9.1.1 リン酸塩の欠乏している患者

アルミニウムは消化管内でリン酸塩と結合し、その吸収を阻害する。

#### 9.2 腎機能障害患者

##### 9.2.1 透析療法を受けている患者

投与しないこと。長期投与によりアルミニウム脳症、アルミニウム骨症、貧血等があらわれることがある。[2.参照]

##### 9.2.2 腎障害のある患者

定期的に血中アルミニウム、リン、カルシウム、アルカリフォスファターゼ等の測定を行うこと。長期投与によりアルミニウム脳症、アルミニウム骨症、貧血等があらわれるおそれがある [11.2参照]

### 9.5 妊婦

治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

### 9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

### 9.8 高齢者

用量に注意すること。一般に、生理機能が低下している。

## 10. 相互作用

### 10.2 併用注意（併用に注意すること）

| 薬剤名等   | 臨床症状・措置方法  | 機序・危険因子   |
|--|--|---|
| クエン酸製剤<br>(クエン酸カリウム、<br>クエン酸ナトリウム<br>等)  | 血中アルミニウム濃<br>度が上昇することが<br>あるので、同時に服<br>用させないなど注<br>意すること。  | キレートを形成し、<br>アルミニウムの吸収<br>が促進されると考え<br>られる。             |
| 血清カリウム抑制イ<br>オン交換樹脂<br>(ポリスチレンスル<br>ホン酸カルシウム、<br>ポリスチレンスル<br>ホン酸ナトリウム)   | 血清カリウム抑制イ<br>オン交換樹脂の効果が<br>減弱するおそれがある。   | アルミニウムイオン<br>と非選択的に交換す<br>ると考えられる。                      |
| テトラサイクリン系<br>抗生物質<br>(テトラサイクリン、<br>ミノサイクリン等)<br>ニューキノロン系抗<br>菌剤<br>(シプロフロキサシ<br>ン、トスフロキサシ<br>ン等)<br>イソニアジド<br>ジギタリス製剤<br>(ジゴキシン、ジギ<br>トキシン等)<br>フェニトイン<br>フェノチアジン誘導<br>体<br>(プロメタジン、アリ<br>メマジン等)<br>β-遮断剤<br>(プロプラノロール、<br>ピンドロール等)<br>非ステロイド系解熱<br>消炎鎮痛剤等 | 同時に服用すること<br>により、これら併用<br>薬剤の吸収を遅延又<br>は阻害するおそれがある。<br>この作用は薬剤の服<br>用時間をずらすこと<br>により、弱まるとの<br>報告がある。 | 本剤が併用薬剤とキ<br>レートを形成又は吸<br>着し、消化管からの<br>吸収を遅延又は阻害<br>する。 |
| ペニシラミン   | ペニシラミンの効果が<br>減弱するおそれがある。  | 同時投与した場合、<br>ペニシラミンの吸収<br>率が低下する。                       |
| ミコフェノール酸モ<br>フェチル  | ミコフェノール酸モ<br>フェチルの作用が減<br>弱するおそれがある。   | 併用により、ミコフェ<br>ノール酸モフェチル<br>の吸収が減少すると<br>考えられる。          |

| 薬剤名等                                      | 臨床症状・措置方法  | 機序・危険因子  |
|---|--|--|
| 甲状腺ホルモン剤<br>(レボチロキシシンナ<br>トリウム等)          | 同時に服用すること<br>により、これら併用<br>薬剤の吸収を遅延又<br>は阻害することがあ<br>る。これらの作用は<br>薬剤の服用時間をず<br>らすことにより、弱<br>まると考えられる。 | 消化管内で本剤と吸<br>着することにより、<br>これらの薬剤の吸収<br>が阻害される。 |
| 胆汁酸製剤<br>(ウルソデオキシコ<br>ール酸、ケノデオキ<br>シコール酸) |  |  |
| キニジン等                                     | 併用薬剤の排泄が遅<br>延することが知られ<br>ている。   | 尿のpH上昇による。                                     |

## 11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

### 11.2 その他の副作用

|     | 頻度不明                 |
|-----|----------------------|
| 消化器 | 便秘、悪心・嘔吐             |
| その他 | アルミニウム脳症、アルミニウム骨症、貧血 |

## 18. 薬効薬理

### 18.1 作用機序

胃酸を中和することにより制酸作用を示すが、炭酸水素ナトリウムのように炭酸ガスを発生せず、二次的な胃酸分泌は少ない。胃内でゲル状となり、胃粘膜に対し被覆保護・吸着作用をあらわす。胃内の塩酸と反応して $\text{AlCl}_3$ となり収斂作用を示す<sup>1)、2)</sup>。

## 22. 包装

500g (ポリエチレン袋)、1kg (ポリエチレン袋)、  
5kg (1kg×5) (ポリエチレン袋)

## 23. 主要文献

- 熊谷洋他：臨床薬理学大系. 第8巻. 1966：163
- 高木敬次郎他：薬物学. 1984：396

## 24. 文献請求先及び問い合わせ先

健栄製薬株式会社 学術情報部  
〒541-0044 大阪市中央区伏見町2丁目5番8号  
電話番号 (06) 6231-5822  
FAX番号 (06) 6204-0750

## 26. 製造販売業者等

### 26.1 製造販売元

